

(祝)200号突破しました

「若い力」を発行する意義

おかげさまで、今回で第200号となります。これまでの皆様からのご意見や問題提起など多大なご協力に感謝致します。この「若い力」を発行する目的は、他でもなく、「労働者目線」で物事を判断する能力を身につけることです。会社と労働者は持つべき考えが真逆と言っているほど異なります。私たちが働きやすい環境や条件は、会社と闘って勝ち取らなければいけません。とは言っても、ヘルメットをかぶってバットや火炎瓶を片手に本社に突撃するわけにはいきません。闘いとは、あくまで「協議」であり、それに勝つためには、労働者に有利な理論で対抗する必要があります。巷では、労働組合不要論がまかり通り、「どうせ何を言っても無駄、なるようにしかならない」といった声があちこちから聞こえます。しかし、こうした思考停止に陥ると、「得をしている社達成員は許せない」とのいがみ合いから、労働者全体の不利益を助長したり、また、「不当転勤」等、個人レベルで会社から理不尽な仕打ちを受けた場合、準備不足から、「仕方ない」と闘う気力さえ起きずに泣き寝入るしかなくなります。私たちは「生け簀の鯉」であってはいけません。一労働者として、多くの方が自身に誇りを持って働けるよう、今後も価値ある情報発信に努めて参ります。

若いもりの先輩より

「若い力」第200号の発行おめでとうございます。毎回楽しみに拝読しています。改めて第一号から読み直して見ると「タイムリー」な情報の提供・具体的数値を出しての分かり易い説明・時には「ウィット」に富んだ表現など、回を追うごとに内容が充実してきた事がわかります。これまでの運動や会社との交渉での経験・学習・行動した事が活かされていて、無学な私は頭の下がる思いです。「国労運動の次世代への継承」について議論していますが、九州では自信をもって継承は順調に進んでいると報告する事が出来ます。しかし、執筆者達が前任者から引き継いできたように運動を前進させるには、新たな「若い力」が必要なのは言うまでもありません。何としても最大の目標を達成し、先輩としてのプライドを保つため、私も若いつもりで頑張ります。

「若い力」愛読者

今は「転職」が当たり前の時代になっていて、合わない会社はすぐに辞めるというのがトレンドですが、「労働組合」の存在、意義が蔑ろにされている事には違和感しかありませんね・・・



「200号」早いものです。絶えず、記事になるネタをくれる会社にも感謝しないと(笑)



第 200 号

2025年 7月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

NTT 092-483-1515